

# 高浜地区



高浜川(堀川)に毎年飛来する白鳥

## ※地域の概要

高浜地区は自然豊かな北山を守る為「高浜森の日」の記念事業として、天平古道、もくせい往還の整備等の活動へ地区民や児童達と共に参加しています。

コミュニティーセンター隣地には福祉ゾーンとして「ぼてとはうす」と「フロンテア」の施設があります。

高浜地区更生保護女性会は昭和37年岡崎ゲン初代理事が立ち上げられました。10年前の地区世帯数1,127戸から1,380戸、人口3,679人から3,850人とわずかずつですが増加しています。会員は現在6名が志を受け継いで活動を続けています。

高浜には神社10社、寺院4ヶ寺があり、他地区に比べると多く、1丁地蔵も御影石12尊が地区内に道標として立っています。



(粟津稻生神社鳥居と一畑電車)

近頃は鳥居と電車の写真を撮りにマニアの人が訪れます。テレビの撮影に藤原紀香や出川哲郎も訪れました。

高浜川(堀川)には毎年白鳥がやって来ます。去年はコウノトリも見かけました。



(北山周辺に飛来したコウノトリ)

県道矢尾今市線前線開通(R2年12月)

- ・ 出雲市中心部へのアクセス向上
- ・ 現道の冠水区間の解消
- ・ 一畑電車との立体交差による安全性向上



## 【会員の動き】

- 松岡 佳子(S.62~)
- 宮本 陽子(H.15~)
- 吉川 京子(H.16~)
- 倉橋 宏子(H.23~)
- 内藤 秀子(H.25~)
- 原 潤子(H.30~)



令和3年度会員

原 潤子、宮本 陽子、倉橋 宏子  
吉川 京子、松岡 佳子、内藤 秀子

## ※地域の活動状況

### 1. 愛の図書募金活動

50周年から続く活動で、各々が自地区内を受け持ち社明月間中に訪問し、手編みのアクリルたわしを手渡して感謝の気持ちを表しました。頂いた浄財は市更女より「さとがた保育園」「高浜幼稚園」「高浜小学校」に愛の図書券としてお渡ししています。

### 2. 地域更女独自の活動

#### ミニ集会(3~4回)

活動方針の検討をしたりアクリルたわしを編んでいます。



(作成したアクリルたわし)

### 3. 地区内関係団体との連携

#### ① ひな祭り茶会

3月3日高浜幼稚園、さとがた保育園児をコミュニティーセンターに迎え茶会を開きます。園児が客と主人にわかれてお点前を楽しみます。又、年長児は別の日に保護者を招き感謝のお点前をします。



(ひな祭り茶会)

#### ②高浜子供見守りチームの活動に参加



(高浜幼稚園からのお礼状)

#### 4. 関係団体との連携

- ① 市更女の総会、研修会に参加する
- ② 社会を明るくする運動に参加する



高浜小学校から市民会館へ移設された農界恩人の山崎夫八郎像

# 川跡地区



斐伊川河川敷公園



マスコット  
キャラクター  
かわとひめ

## ＊地域の概要

川跡地区は斐伊川の西、北山を眺む出雲平野の北側に位置しています。かつては田園の広がる農村地帯でしたが、近年は農地の宅地化が進み様変わりしています。周辺に県立中央病院や大型商業施設があり、県立大学をはじめとする教育環境や、ハートピア出雲などの福祉環境も整う市内でも数少ない人口増の地区です。

世帯数4,182戸、人口は10,370人(R4.5月現在)を越し、年間に130人前後の赤ちゃんが生まれています。若い層の人口比率が高い反面、町内加入率が低下(45.7%)して、新たな地区の課題となっていますが、地域全体で子どもを見守り育む気質はまだしっかりと残る住みやすい地区です。

川跡更女は独自の活動を展開しながら、さらに地域との連携を深め、温かいふるさとづくりをしていきたいと思っています。



(発展する川跡地区)

## ＊地域の活動状況

### 1. 愛の募金活動

7月から8月の間、会員各々が趣意書もち地区内を回って募金をお願いしています。

期間中にはコミュニティセンターの広報紙に、更生保護女性会の活動と募金について載せてもらい、少しでも多くの方に知っていただけるようにしています。募金のお願いもしやすくなりました。

図書券の贈呈先は第三中学校、北陽小学校、川跡幼稚園、なかの保育園、ほくよう保育園、かなで保育園の6ヶ所で、先生方と直接話すことのできる良い機会です。また園児との交流もあり暑い中での募金活動の励みとなっています。



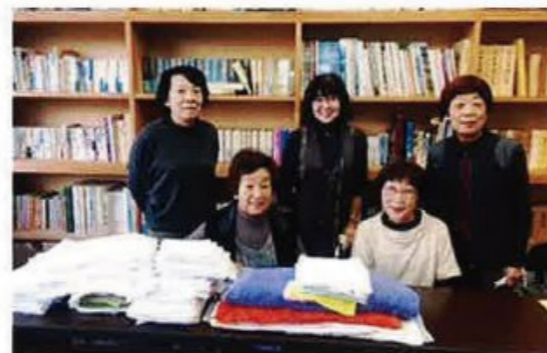
(図書カードの贈呈)



(届いたお礼)

### 2. 川跡独自の活動

犯罪を未然に防ぐための心育の一助となるよう、無理なく楽しくできる活動をめざしています。更女カラーのえんじ色のエプロンをそろえ、気持ちをひとつにしています。希望者によるオンライン連絡網があります。



(寄贈するためのぞうきん作り)

### ●定例会の開催

コミュニティセンターで年4回～5回開催。市更女からの情報の伝達、地区独自の活動についての話し合い、手作り小物の作成、紙芝居の読み合わせなどを行っています。

### ●紙芝居の読み聞かせ

幼稚園、保育園、児童クラブ、コミュニティセンターなどで『ミミちゃんのとてとて』や『いのちをいただく』など4点を、役になって、お芝居のようなかたちで上演しています。紙芝居の前には毎回、更生保護についてわかりやすくお話しさせていただきます。講演会や保護者会とコラボして、お母さん方と意見交換をすることもあります。



(講演会とコラボした紙芝居読み聞かせ)

### ●地区文化祭への参加

活動の簡単な説明や、活動の写真、ポスターなど展示し、PR活動を行います。

また炊き込みご飯を作ったの販売や、手作り小物のバザーをして、その収益は活動資金や愛の募金の一部に充てています。



(地区文化祭での炊き込みご飯作り)



手作り人形  
ホゴちゃんとサラちゃん (活動紹介と手作り品バザー)

### 3. 関係団体との連携活動

#### ●「朝の声かけ活動」への参加

地域見守り活動の一環として、自治協会主催の通園・通学路での立哨に参加しています。年に2回ずつですが、こどもたちの「おはようございます」の声に元気もらっています。

#### ●「夏休みがくしゅう広場」に参加

コミュニティセンター主催で1年生～6年生まで100人以上の児童が集います。乱れやすい夏休みの生活と学習の習慣を守ることの手伝いをしながら夏休みのはじめと終わりの10日間ずつをすごします。特別授業で紙芝居をすることもあります。

#### ●市更女の主催する事業、関連する事業への参加

総会・研修会・講演会には誘い合わせて参加し、更女としての意識を高め活動に活かしています。



#### <現在の会員>

- 土江 道子 H10.4 ~ 原 泰子 H25.4 ~
- 山根 繁子 H18.10 ~ 藤原恵美子 H26.4 ~
- 鶴原栄美子 H21.4 ~ 山根 寿栄 H29.4 ~
- 鶴原 京子 H21.10 ~ 勝部 陽子 H31.4 ~
- 吉田千恵子 H24.4 ~ 佐藤 恭子 R 3.10 ~

# 鳶巣地区



鳶ヶ巣山

## ＊概要

鳶巣地区は出雲市の北部に位置し、北山を背にし、東西2.6Km、南北2.4Kmの山林が多い地域です。古くから開けた地で、弥生時代から中世にかけて三層の遺構面を持つ青木遺跡、縄文時代から江戸時代までの遺構や遺物が発見されている山物遺跡、国の重要文化財の9体の仏像が保管されている大寺薬師仏像収蔵庫などの史跡があります。戦国時代1509年に築城された鳶ヶ巣城址があります。

また学園のまち・福祉のまちで、幼稚園・中学校・高等学校・県立大学・健康スポーツ施設があります。令和6年には出雲市の新体育館が建設されます。

世帯数 530戸 人口 1594人  
(令和3年9月30日現在)

## ＊活動状況

昭和37年の出雲市更生保護婦人会結成時に園山多賀子氏一人で活動されたのが始まりで、その後二人増えて、寄贈された不用品の販売で愛の図書運動の資金源にされていたそうです。三島弥生氏は45年間理事を務められ、出雲市の監事、副会長もされています。現在は6人で活動しており、更生保護女性会独自の活動の「愛の図書募金」のほかに、

コミュニティセンターで行われる地区活動に参加し、福祉サロンや敬人会のスタッフ、子育て支援のスタッフとともに、未就学児から慶人の方に関わっています。

### 1. 愛の図書募金活動

平成29年度までは他地区と同様に戸別訪問をしていましたが、戸別訪問することで同じ方だけに負担をかけていないか、行きやすい家と行きにくい家があるなどを考え、平成30年度から各家庭への訪問をやめ、一か月間コミュニティセンターに募金箱を設置しました。また、鳶巣夏祭りには募金活動を行いました。

平成30年度は「葉」、令和元年度は「ひまわりの夜光反射材」、令和3年度は「楊枝入れ」を作って、募金をしていただいた方に差し上げました。



平成30年度 令和元年度 令和3年度

鳶巣地区には会社や商店が少なく、一般家庭への訪問がほとんどでした。募金箱にしたことで金額は減りましたが、空き缶回収などから援助していただきました。また、多くの方に更生保護女性会の存在を知っていただけたのではないかと思います。

幼稚園児からお礼のプレゼントを頂きました。



(幼稚園児からのプレゼント)

### 2. 紙芝居

「ミミちゃんのとてとて」の紙芝居を、鳶巣幼稚園と介護施設で行いました。役柄に合わせたお面をつけ、保護司会の会長さんや幼稚園の園長先生にも参加していただきました。

幼稚園児からは「物を取ったらダメだってことがわかったよ」「ミミちゃんはお父さんのことを考えていたから優しいと思った」「ミミちゃんはいけないことをしたけどもうしないと」などの感想をもらいました。子供たちにちゃんと伝わっていることが解りました。継続しながら他の紙芝居にも挑戦してみたいと思います。



(幼稚園での紙芝居) (介護施設での紙芝居)

### 3. 地域内関係団体との連携による活動

- ① 青少年育成協議会との連携・・・月2回朝、幼稚園前で交代で挨拶運動をしています。
- ② 社会福祉協議会との連携・・・高齢者福祉サロン、幼稚園、未就学児のびよこ教室合同のおたのしみ会、ひな祭り会に参加し、ちらし寿司などを作っています。
- ③ 慶人会との連携・・・幼稚園の餅つきで、手返しや餅をまるめる作業をしています。



(挨拶運動) (おたのしみ会)



(ひな祭り会) (餅つき)

### 4. その他の活動

- ① BBSへの参加・・・我々はBBSの会員ではありませんが、出雲地区BBS会が鳶巣コミュニティセンターで開催されたときに参加しました。ちゃんこ鍋をみんなで作り、卓球(平成30年度)やカローリング(令和元年度)を一緒に楽しみました。
- ② 幼稚園児への押し花プレゼント・・・令和2年度はコロナ禍の影響で幼稚園児とのふれあいがなかなか持てませんでした。卒園児に記念になればと思い、四葉のクローバーを使った小物を作って贈りました。



(押し花小物の贈呈)

- ③ 地区委員会への参加・・・青少年育成協議会、人権・同和教育推進協議会

### 【平成24年以降の会員(入会順)】

三島 弥生 福田 洋子 園山 博子  
富田 君子 福田 京子 園山 京子  
新宮 文子 福島 恵美子 福島 倅功  
金森 晴美 園山 重子 三代 都  
細木 みゆき

### 【理事】

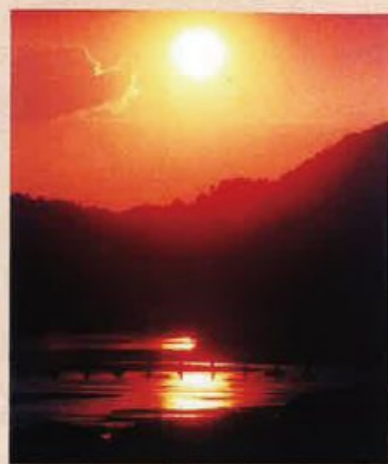
福田 洋子 (H21～H25)  
富田 君子 (H26～H27)  
新宮 文子 (H28～H29)  
園山 京子 (H30～ )

### 【令和3年現在の会員】



細木みゆき 三代都 園山重子 金森晴美  
福島恵美子 園山京子

# 上津地区



## 概要

上津地区は、斐伊川に沿って東西に8.2km、南北に2.5kmと細長く、緑豊かでコウノトリや白鳥などが飛来する自然に恵まれた地域です。船通山に源を持つ斐伊川の豊かな水を水源として、昭和53年には市民の大切な水がめとなる出雲市上水道の取水施設ができました。

このような環境の中で、子どもたちは地域の方々と触れ合い、また見守られながら元気に健やかに成長しています。

### 歴代理事

- 徳岡 寿子
- 國谷 イサ
- 石橋 利枝
- 横原 由利子
- 内部 英子
- 嘉本 幸子
- 金山 紀九重
- 山田 恭子
- 佐々木 由紀子
- 藤原 めぐみ

会員数は4～5名で活動をしています。

## 活動状況

### 1. 愛の図書募金活動

「社会を明るくする運動」月間の7月～8月に会員が担当地区を中心に募金活動をおこなっています。近年は地区のご理解を得たところより、まとめて募金をして頂いています。図書券は会員全員で小学校・幼稚園へ持参し、学校の状況を聴いたり私達から見た子ども達の様子を校長先生と話し合います。

### 2. 更生保護女性会独自の活動

- 2015 子供の集い スポーツチャンバラ おやつ作り



(子供の集い 子どもオリンピック)



藤原 めぐみ、 佐々木由紀子、  
渡部 早苗、 嘉本 明美、  
嘉本 美和子、 金山 清恵



(紙芝居)

- 2016 子供の集い 子どもオリンピック  
紙芝居  
豚汁・おにぎり作り

- 2017 ハム作り
- 2018 ハム作り
- 2019 ハム作り

ハム作り後は、みんなで楽しく頂きます。



(ハム作り)



- 2021 子供の集いの食事作り  
さつまいもご飯、豚汁等

その他、幼稚園へ絵本の読み聞かせなど



(絵本の読み聞かせ)

### 3. 関連団体との連携活動

あいさつ運動  
地区内開催の行事に随時協力しています。



(あいさつ運動)

# 稗原地区



要害山山頂から眺めた稗原地区中心部辺り  
(2019年撮影)

## ＊地域の概要

稗原地区は、出雲市の中心部から南に約10kmのところの位置し、周辺は山々に囲まれた緑豊かな山里です。戦国時代には戸倉城があったとされる要害山（標高314m）に登ると稗原地区が一望でき、また尼子氏が城を利用し戦をしたとされる痕跡を見ながら稗原の歴史を振り返ることができます。

稗原地区の中心部からJR出雲市駅南口までは車で約15分という距離で立地的には恵まれています。全国的な流れに違わず、少子高齢化並びに人口減少が著しく進んでおり、平成元年（1989）には2,470人あった人口が、平成23年（2011年）に2,000人を下回り、現在では1,608人（令和3年12月末現在）にまで減少しています。

稗原地区の中心部には、コミュニティセンターと小学校、幼稚園が建物の中でつながった形で建築された「稗原コミュニティスクール」があります。地域の拠点であるコミュニティセンターと小学校・幼稚園が連携し、地域のみんなで子どもたちを育もうと文化祭をはじめ様々な連携活動が展開されています。

また、稗原コミュニティスクールの近隣には、稗原駐在所、JAしまね稗原支店、稗原郵便局があり、地域の行事はこれら各施設の協力体制のもとで地域一丸となって行われて

います。

そのような地域性の中、更生保護女性会のメンバーは、子どもたちが心身ともに健やかに育っていくことに主眼を置いて自分たちができることを活動として行っています。定例会はコミュニティセンターで開催し、小学校・幼稚園の状況について情報を得ながら活動ができることが、稗原コミュニティスクールならではのメリットです。

## ＊地域の活動状況

### 1. 愛の募金活動

「更生保護女性会の組織の活動」並びに「愛の図書寄贈運動」の趣旨をご理解いただいた方々に募金をお願いしています。集まった浄財は出雲更生保護女性会を通じて、県内各施設に配分され、稗原地区については、会員が小学校・幼稚園を訪問し図書券をお渡ししています。

小学校も幼稚園も読書活動や読み聞かせが熱心に行われており、大変喜んでいただいています。



(図書券を稗原小学校の校長先生に渡す会員)

### 2. 独自の活動

#### ① 定例会

会員全員の共通理解のもと年間の活動を行うため、また会員相互の親睦を図るため、年間3～4回の定例会を行っています。

#### ② 本の読み聞かせ・紙芝居上演

稗原小学校の低学年を対象に本の読み聞かせや紙芝居を行う活動を毎年進めてきました。コロナの蔓延に伴い、現在は休止していますが、コロナが落ち着いた状況になれば、再開する予定です。



(紙芝居を熱心に見る子どもたち)

### 3. 関係団体との連携活動

稗原地区では毎月一回、青少年育成協議会の活動として、朝、小学校・幼稚園に登校・登園する子どもたちに、「おはよう」の声掛け運動が行われています。更生保護女性会のメンバーもこの朝の立哨に参加し、子どもたちに声掛けをしています。



(登校する児童と朝の挨拶を交わす会員)

## ＜歴代理事＞

- 牛尾 君代 (在任期間不明)
- 北広 斐子 (在任期間不明)
- 飯塚 嘉子 (H 4.4.1～H 5.3.31)
- 岡野 綾子 (H 5.4.1～H 7.3.31)
- 古瀬 佐恵 (H 7.4.1～H 9.3.31)
- 赤井 照子 (H 9.4.1～H 15.5.31)
- 古瀬 佐恵 (H 15.6.1～H 21.3.31)
- 本田 好美 (H 21.4.1～H 22.3.31)
- 飯塚美代子 (H 22.4.1～H 27.3.31)
- 名原 克枝 (H 27.4.1～R2.3.31)
- 児玉 宏子 (R 2.4.1～ )

## ＜会 員＞



令和3年度の会員5名

後列／児玉宏子、高野勝子、岡野和栄  
前列／名原克枝、古瀬佐恵、

# 朝山地区



朝山神社の神迎え

## ※地域の概要

朝山は、神戸川中流域に開けた五つの町からなり、半分が神戸川の溪谷に添って狭い耕地が広がる静かな山間地域です。

主な名所旧跡等を挙げると、王院山（山頂の王院が基立石）、姉山城址（土塁と郭）、朝山神社、岩根寺、馬木不動尊等があります。見々久神楽は県の無形民俗文化財として有名です。

また、出雲風土記にある朝山六神山は、南中学校の背景に広がっていて、古代のロマンを感じることできる山々です。歴史や由来に親しみ、ゆっくりと散策や観賞がお勧めできる場所です。

旧朝山小学校は旧乙立小学校と統合されて、平成31年4月1日にみなみ小学校と校名を新たに開校しました。ここ十年間の全校生徒数は100人を割る状況にあります。し



(見々久神楽)

かし素朴で明るく登校してくる子供たちの姿や何事にも懸命に取り組む姿に励まされます。本当に「地域の宝物」と思います。

## ※活動状況

朝山更生保護女性会は子供たちの健全育成をめざし、8名の会員で活動しています。

### 1. 愛の図書運動

(心豊かな成長を願って)

### 2. あいさつ運動

(あたたかな励ましと絆を求めて)

### 3. ふれあい運動

(健全な仲間づくりを願って)

### 1. 愛の図書募金運動

(心豊かな成長を願って)

- ① 社会を明るくする運動月間に併せ、コミセンに募金箱を設置し、地域のみなさんの協力を得ています。
- ② 文化祭参加による花苗等の販売による収益を募金に充てています。



(募金箱設置)



(文化祭の活動)

このような活動を通し、広く地域の方に更生保護女性会を知ってもらっています。

## 2. あいさつ運動

(あたたかな励ましと絆を求めて)

朝山地区あいさつ運動推進協議会と協力し、毎週水曜日、子供達の登校に併せて、みなみ小学校と南中学校の昇降口付近で行っています。



(みなみ小学校にて)

## 3. ふれあい運動

(健全な仲間づくりを願って)

- ① 蕎麦枕作り (平成26年～令和2年)
  - 1、2年生を対象にして蕎麦殻を入れるための中袋を製作し、後日、糸の通し方や縫い方など含めて、仕上げるまでの手伝いと見守り
- ② 6年生との交流
  - ・卒業式に胸花を贈る
  - ・戦争の悲劇についての話
  - ・家庭科の授業への参加



(胸花と礼状)

## ③子供サロン (平成30年～)

朝山コミュニティーセンター事業に協力し、夏休み期間中の小学生と幼稚園児を対象に実施

- ・元力士の春日さんと遊ぼう
- ・書道を楽しもう
- ・音楽を楽しもう

食事作りの協力や子供たちの見守り



(参加者集合)



(幼稚園での様子)



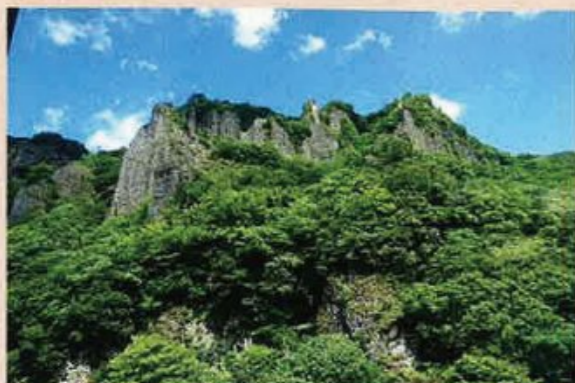
(書道を楽しもう)



令和3年度の会員

- |       |      |      |
|-------|------|------|
| 加藤君恵  | 加藤澄子 | 高橋悦子 |
| 成相照子  | 佐藤幸子 | 伊藤祝子 |
| 江角寿栄美 | 雲藤芳子 |      |

# 乙立地区



国の名勝・天然記念物  
県立自然公園 立久恵峽の岩山

## ※地域の概要

乙立町は、出雲市の中心部から国道184号線を南に15kmほどのところにあります。周囲を山に囲まれた中央に、南北に流れる神戸川沿いに県立自然公園立久恵峽があり、四季折々の自然を間近に感じることができます。



(ありがとう乙立小学校・幼稚園 ～永遠に～)

乙立町も少子高齢化が進み、令和3年3月末には、人口565人まで減り、令和元年に乙立小学校が閉校になり、朝山小学校と再編統合して「みなみ小学校」と名称変更しました。

校庭にある銀杏の木は100余年乙立の子どもたちを見守ってきています。自然がいっぱい、人が好き、穏やかに生活できるそんな乙立がここに 있습니다。

## ※地域の活動状況

### 1. 愛の募金活動

時代は流れ、現在は新型コロナウイルス禍で、隣へお邪魔してお話ができる状態できなくなり、ままならぬ現状下です。



(図書カード贈呈 校長先生と児童代表が対応)

### 2. 独自の活動

・民生委員さん、児童主任委員さんと乙立の子どもに関して話し合い、共通理解をして取り組んでいます。

### 3. 関係団体との連携活動

乙立地区は人口が少なく、活動するにも単独では困難な現状があります。他団体との連携でいろいろな活動を行います。

- 朝の立哨(地域団体として)
- 青少年健全育成協議会との研修
- あいさつ運動(学校運営理事会と一緒に)  
顔を合わせ、声をかけることによって子どもの様子を観察します。



(旧乙立小学校)

### ●みなみ小学校卒業生へ 手づくりのコサージュを!



コサージュ

(卒業生一人一人からお礼の手紙)



(みなみ小学校)

### ●立久恵音頭の継承 (立久恵音頭保存会と一緒に)

野口雨情作曲のこの音頭を後世に引き継ぐと、乙立小学校からみなみ小学校へ継続し、運動会で踊っています。コロナ禍の前は保護者と一緒に約200名で踊りましたが、ここ1～2年は児童のみで踊りを披露しています。



(旧乙立小学校児童 練習風景)



(みなみ小学校児童 練習風景)

### ●米一連の活動 (田植え⇒稲狩り⇒餅つき) (高齢者部、青少年部と一緒に)

今年はコロナ禍により、田植えだけになりました。子どもたちは素足で、泥の感触を味わいながら、機械化になった近年に、一つ一つ気持ちを込めて植えていました。大きくなーれ!



### ☆乙立地区会員



今岡 恵子、角田千恵子、  
安喰 公美、吾郷 育美、  
今岡 恭子

# 神門地区



トキよ！ 出雲の大空へ

## ※地区の概要

神門地区は5町で構成され、令和3年10月現在人口8,156人 世帯数2,999戸です。人口減少社会の中で持続的に増え続けています。

近年出雲市西部の拠点として施設等が整えられてきました。出雲市トキ分散センターが、しまね花の郷の隣接地にあり、令和元年9月からトキの一般公開が始まりました。現在10羽のトキが訪れた人を楽しませてくれています。トキは人と自然が共生できる地域のシンボルです



令和3年12月現在の会員



布野 登美、三島 シツ工、浅津美保子、高瀬 泰子  
宮岡 あけみ、布野 房代、高見 由起、高橋 洋子  
永田 ミスミ、嘉藤 馥美、原 南海子、布野 素子  
諏訪邊 信子

## ※地区の活動

### 1. 愛の募金活動

社会を明るくする運動月間中、趣意書をもって、地区内の家庭、施設、事業所、公的機関等を訪問し、趣旨の説明、青少年の健全育成、非行防止等の話をしながら、募金の協力をお願いしています。

集まった浄財を市本部に提出し、愛の図書券として受け、河南中学校、神戸川小学校、神門幼稚園、神門保育園、神門第二保育園に贈呈しています。保育園、幼稚園では直接子ども達の代表に手渡しています。



## 2. 独自の活動

### ① 「愛の図書」贈呈と紙芝居の実施

紙芝居を始める前に、手作りの手袋人形「ホゴちゃん サラちゃん」のお話をし、『ミミちゃんのてとてとて』『マックン プーちゃん夢の町三丁目』の紙芝居を行っています。誕生会に行うこともあり、最後に歌を歌ってくれたり、お花をいただいたり、手作りのメダルをかけてくれたりして、子ども達との触れ合いの場を持っています。後日、かわいい温かな絵と手紙が届けられます。この礼状をコミュニティーセンター広報版に掲示していただき、地区の寄贈してくださった方々に感謝するとともに、更生保護女性会の活動を広く知ってもらえるよい機会になっています。

### ② 老人保健施設での対面朗読

月1回老人保健施設で本読みをしています。これは高齢者の方が、本の内容にある背景に自分の人生を照らし合わせ、思い出を話してもらうコミュニケーション活動の場となっています。脳の働きを良くするというので、本選びには工夫をしています。

### ③ 介護施設での草取り奉仕作業

施設の玄関周りの草取りをしています。早朝から出かけひと汗かいた後、職員さんとの反省会では、利用者さんとの対応の仕方などを聞き、会員の活動の参考にしています。



## 3. 関連団体との連携

青少年育成協議会の行事の一つ「朝のあいさつ運動」に参加しています。毎月第一と第三金曜日に小学校、中学校、幼稚園、西高校、その他交通量の多い場所に出かけています。



(老人保健施設での対面朗読)



(朝のあいさつ運動)





# 神西地区



神西湖の白鳥

## ＊地域の概要

### 1. 神西地区の様子

神西地区は、出雲市の西部に位置し、国道9号線が東西に通っています。平成21年11月には神西まで山陰道が開通し、交通の重要な拠点となっています。

東神西、西神西、山地、小浜、神西沖、大島、新町から成り立ち、湖や平野、山地を有する田園地帯です。

神西湖は汽水湖で、ウナギ、シジミ等豊かな水産資源に恵まれ、また野鳥観察、展望台、遊歩道等があり、皆さんに親しまれています。

南部には、平成温泉、スポーツ公園、斎場があります。北部には、県立出雲養護学校、さざなみ学園、ふたば園、ひまわり園、出雲サンホーム等の福祉施設が多くあり、福祉の里としての役割も担っています。

### 《現在》

人口 3,654人  
世帯数 1,473世帯  
子供の数 589人(18歳以下)

### 2. 発足とあゆみ

平成4年11月13日会員5名で発足しました。社会を明るくする運動として、街頭啓発活動に参加したり、愛の図書募金活動をしたりして、現在に至っています。

### 《歴代理事》

- ・平成4年11月13日～平成18年3月  
会員 5名 理事 今岡 房子
  - ・平成18年4月～平成27年3月  
会員 5～6名 理事 柘植悦子
  - ・平成27年4月～平成30年3月  
会員 10名 理事 江角和子
  - ・平成30年4月～ 現在  
会員 10名 理事 岩成敬子
- 現在は10名の会員で活動していきます。

### 《現在の会員》



(右前から)  
柘植悦子  
岩成敬子  
野津孝枝  
小村孝子  
岩成敬子  
小村和子  
江角和子  
中尾節代  
伊藤好子  
藤江靖子

## ＊活動状況

### 〈活動の経過〉

時代の推移や状況により活動も変容してきました。

- 募金活動は個人とともに町内会としてもして頂くようになりました。
- これまでに地域の事業に参画してきた活動  
夏休みパトロール街頭指導  
歳末パトロール街頭指導  
高齢者集会へ参加

### 〈現在の活動〉

#### 1. 愛の図書募金活動

令和2年、3年の2年間は、コロナ禍のため、会員だけの募金活動としました。

地元の小学校、幼稚園、保育所、出雲養護学校へ贈呈しました。

## 2. 地区更女独自の活動

### ミニ集会

- ・本年度の活動計画作成
- ・情報交換
- ・会員の勧誘について他

## 3. 地域事業への参画

青少年健全育成協議会の委員として活動に参加しました。

### ①愛の一声運動のための立哨

毎月1日・15日、1学期・2学期・3学期の始業日、7時30分～8時頃まで地区内6箇所で開催しました。

### ②夏休み小学生活動への参加

昼食づくりをして子ども達の活動を支援しました。

- ・カレーライスづくり・そうめん流し
- ・しじみ汁づくり・学習支援見守り 他



(そうめん流し)



(学習支援の見守り)

### ③紙芝居の読み聞かせ

コロナ禍のために、昨年は中止したが幼稚園・保育所の子ども達に紙芝居の読み聞かせをし、手作りおもちゃや給食準備用の手作りキャップを渡しました。会員が寄付したタオルで、コミセンのボランティア清掃をしたとの報告がありました。

園・保育所の子ども達に紙芝居の読み聞かせをし、手作りおもちゃや給食準備用の手作りキャップを渡しました。会員が寄付したタオルで、コミセンのボランティア清掃をしたとの報告がありました。



(紙芝居)



(手づくりこまで遊ぶ)



(コミセンで雑巾がけ)

## 4. 関連団体との連携

- ・保護司会諸行事への参加
- ・市更女諸行事への参加
- ・社会を明るくする月間行事への参加
- ・神西青少年健全育成協議会への支援

## 5. 今後の課題

- ・神西更生保護女性会の周知・アピール
- ・会員の勧誘

# 長浜地区



菌の長浜

## ＊地域の概要

長浜地区は、日本海に面した出雲平野の西部に位置し、荒茅町、東園町、西園町、外園町、長浜町の5つの町で構成し、人口約5,100人ほどの町です。

地形は地区中央を流れて日本海にそそぐ神戸川と出雲平野の東部を流れる斐伊川の二大河川によって、砂質土砂が運ばれてきた沖積平野に水田が広がっています。海岸砂丘に防風林の松が連なる「菌の長浜」は白砂青松の風光明媚なところで、出雲の国風土記に「国引きの綱」と記され「国引き神話」の舞台として知られています。平成29年4月には「菌の長浜」海岸砂丘一帯が、日が沈む聖地出雲として「日本遺産」に認定され、神が創り出した長浜海岸として全国に情報発信されました。また、遺跡「上長浜貝塚」で明らかになったように、古代から人々が生活し自然と闘いながら開拓されて発達してきました。

昭和56年には、第二の「くにびき」とも言われる「出雲長浜中核工業団地」が地区の中央に造成されて以来、多くの企業が誘致され、工業の町として大きく変貌しています。さらに、斐伊川神戸川地水対策事業により、神戸川にかけられた4つの橋（既設3、新設1）等の大規模な河川整備が行われ、災害に強いまちづくりが進められています。

長浜地区は、くにびき3大祭りを大切なイ

ベントとして継続してきました。国引き祭り（8月）、国引き産業祭（10月）、くにびきマラソン（2月、後に出雲市に委譲）で地域が繋がって元気で明るい地域コミュニティづくりをめざし、農業・工業の町として発展しています。

長浜地区の人口（令和3年11月末現在）
人口 5,035人
（男2,497人）（女2,538人）
世帯数 1,883世帯

長浜地区では、現在、主産業の農業や地域の活動に取り組んでいるのは主に高齢者世代で、若者世代の多くは地域の活動や行事への参加が難しい状況にあります。少子高齢化人口減少社会へとむかう中で、これまで大切にしてきた地縁、血縁もよわくなっていく時、地域のつながりや安全な暮らしを維持する取り組みが課題です。

## ＊地域の活動状況

長浜更生保護女性会は、これまで長い間活動をしてこられた方々が、近年高齢のため等で相次いで退会され、その後入会した会員が多く、まだまだ活動経験が少ない会です。長浜地区の活動はこれまでの活動を踏襲してきました。

### 1. 愛の募金活動

平成5年度より自治協会に協力をいただき、年度初めの代表自治委員会で活動の趣旨を説明し、町内毎に3,000円の募金をお願いしています。町内の募金は会員で担当者を決めて代表自治委員さん宅を伺っています。また、趣旨に賛同してくださる個人や企業等にもお願いに回っています。

### 2. 独自の活動

#### ☆施設訪問

平成7年より毎年冬に障がい者支援施設「ふたば」を訪問し、施設の様子を見学し

たり一緒に作業を体験したりしています。令和2、3年度はコロナ感染拡大防止のため活動は中止しました。



#### ☆「夏季青少年修養の集い」へ参加

出雲市仏教会が主催している「夏季青少年修養の集い」に参加して、小学生や保育園の子ども達と一緒に座禅を組んだり講話を聞いたりしています。平成30年度からは紙芝居を取り入れ、罪になることはしない、危険なことには巻き込まれないようにと訴えました。令和2、3年度はコロナ感染拡大防止のため修養の集いは中止となりました。



#### ☆紙芝居の取り組み

平成29年度の出雲市更生保護女性会の研修会で広島市安佐南区更生保護女性会との交流会で見た紙芝居の活動に感動し、長浜地区でも取り組みを始めました。全会員で配役を決め練習会をしました。セリフ読みの練習はちょっと気恥ずかしさもありましたが非日常の活動でプチ高揚感もあり元気を貰えました。

「夏季青少年修養の集い」や保育園に行っ



て紙芝居を行っています。

## 3. 関係団体との連携活動

### ☆長浜地区ミニ集会への参加

毎年年度末に自治協会が主催する「社会を明るくする運動」の一貫である長浜地区ミニ集会に参加し、地域の青少年健全育成に関わる情報交換をしたり講演会を聞いたりして知見を広めています。平成29年度には私たち長浜地区更生保護女性会のこれまでの取り組みを発表し、地域の方に活動について知って貰う良い機会を得ました。

### ☆「浜山中学校区一斉あいさつ運動」

毎年11月と2月に、気軽に声をかけあえる「あいさつ いきいき まちづくり」をめざして、「浜山中学校区一斉あいさつ運動」が長浜地区高松地区一斉に展開されます。長浜小学校の昇降口前で地域の方々と共に声かけをしています。



### ☆学校との関わり

長浜小学校からの要請に応じて種々の授業（クラブやマダムミシン、九九名人さん、昔の遊びの名人さん、環境教育等）に参加し学習の支援をしています。



《令和3年度会員》

森脇絹代（監事）・曾田美代子（理事）  
板垣壽美・秦久里・藤江恵子  
藤江佐智子・川上由紀子・青木久美子

# 出雲更生保護女性会だより

## 出雲更生保護女性会だより 結成60周年記念式典特集号

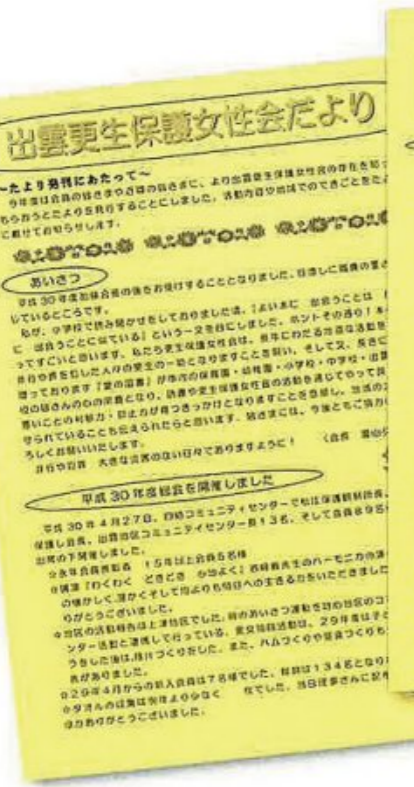
去る5月19日(木曜日)13時30分から「出雲更生保護女性会結成60周年記念式典」を全会員参加のもとで行われました。コロナ禍で会場は限られて、久しぶりに会った会員とも、距離を置いて大声でしゃべらず、順番にマスク着用といった、いつもと違う式典の様子に緊張も感じました。記念式典の幕開けです！式典にふさわしい祝賀、黙祷、御挨拶、開演、高松市長あいさつ、東雲松江保護観察所長 西江由人様・出雲地区保護司会長 三島潤治様、高松市長あいさつ、EBS会長 春日昌彦様・出雲地区コミュニティセンター長 飯沼由希子様、後援市関係のあらたりに参加者紹介がありました。記念講演は保護観察所長の西江様から「再犯防止における更生保護の役割-更生保護女性会の活動の意義と保護観察所各中心-」を拝聴しました。



【挨拶で先声張る】

【席も賑わって】

【活劇にふさわしい衣装】



# 出雲更生保護女性会 会則

## 第1章 総則

- (名称)  
第1条 本会は出雲更生保護女性会と称する。
- (所在地)  
第2条 本会の所在地を会長宅に置く。
- (組織)  
第3条 本会は旧出雲市内の地区更生保護女性会を持って組織する。
- (目的)  
第4条 本会は女性としての立場から松江保護観察所並びに出雲保護司会等と連携して更生保護事業を推進すると共に、各地区更生保護女性会相互の連絡を図り、犯罪のない明るい社会の建設に貢献することを目的とする。
- (事業)  
第5条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。  
 (1) 更生保護事業の推進  
 (2) 青少年の健全育成を図る活動  
 (3) 更生保護の心の育成並びに犯罪予防活動の推進  
 (4) 保護観察所並びに保護司会連合会等の関係機関団体との連絡提携  
 (5) 各地区更生保護女性会相互の連絡並びに情報交換  
 (6) 会員の資質向上のための研修会の開催  
 (7) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

## 第2章 役員等

- (役員)  
第6条 本会に次の役員を置く。  
 会長 1名  
 副会長 2名  
 理事 若干名  
 事務局員 2名  
 監事 2名
- (役員選出)  
第7条 会長は会員の中から、副会長、事務局は各ブロックから選出する。  
各ブロック体制  
a 中央、b 西部、c 南部、d 北部 の4ブロックとする。

a 中央	b 西部	c 南部	d 北部
今市	古志	塩治	鳶巣
大津	神西	朝山	高浜
上津	神門	乙立	川跡
稗原	長浜	高松	四絡

- (1) 会長はa・b・c・d全域から選出する。選出に当たっては、理事、会員の中から選出する。  
 (2) 副会長と事務局はa・b・c・dの理事の中から1名ずつ選出し、その中から話し合いで副会長2名・事務局2名を決める。  
 (3) 監事は更生保護女性会員の中から理事会において選出する。監事は他の役員を兼ねることはできない。
- (役員職務)  
第8条 役員職務は次の各項による。  
 (1) 会長は本会を代表し、会務を総理する。

- (2) 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時は会長の職務を代行する。
- (3) 理事は理事会を組織し、会務の執行を決定する。
- (4) 事務局員は会計及び庶務を行う。
- (5) 監事は本会の会計及び会務の執行状況を監査する。

(役員任期)

第9条 会長・副会長・事務局の任期は2年とする。ただし再任は妨げない。  
補欠の役員任期は前任者の残任期間とする。

(顧問)

第10条 本会に顧問を置くことができる。  
顧問は理事会の推薦により会長が委嘱する。顧問は会長の諮問に応じて意見を述べることができる。

### 第3章 会 議

(会議の種類)

第11条 本会の会議は、総会及び理事会とする。  
総会は年1回とし、予算、決算及び会務運営に関する重要事項を評議決定する。

(会議の招集、議決)

第12条 総会及び理事会は会長がこれを招集する。総会に当たっては議長を選出する。  
会議の議決は出席者の過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決するところとする。  
理事がやむを得ない事由により会議に出席できない時は、あらかじめ通知された事項につき、他の会員に代理をもって権限を委任することができる。

### 第4章 経 理

(経 費)

第13条 本会の経費は、会費、寄付金、その他を持って充てる。

(予算及び決算)

第14条 本会の会計年度の収入支出の予算は総会において決める。  
本会の会計年度の収入支出の決算は監事の監査を受けて総会の承認を求めるものとする。

(会計年度)

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

### 第5章 補 則

(細 則)

第16条 会長はこの細則に定めるもののほか、理事会または総会の承認をえて必要な細則を定めることができる。

第17条 会員として15年と30年経過した時、感謝状と記念品を贈る。

(慶弔規程)

第18条 会員の死亡に際しては、弔慰金を贈る。

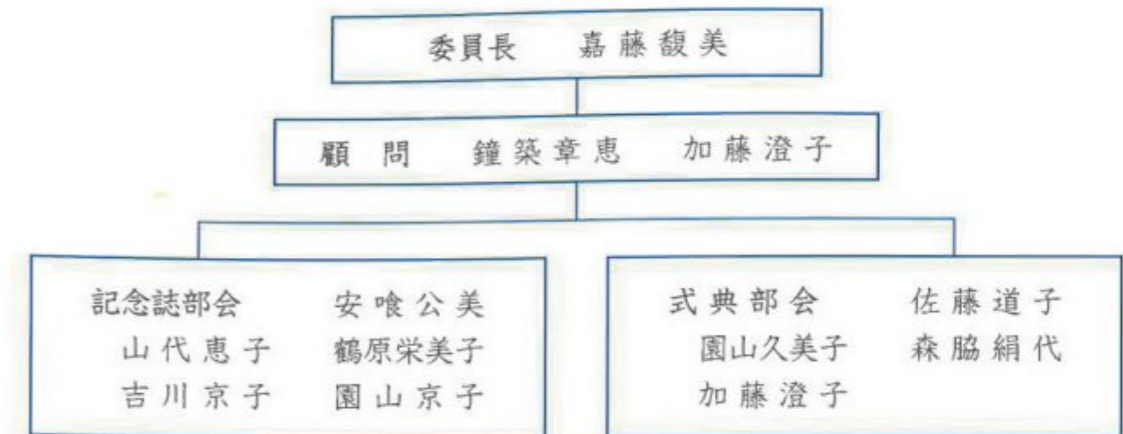
第19条 全国表彰の受賞者には、祝い金を贈る。

(付 則)

この会則は昭和37年3月29日から実施する。

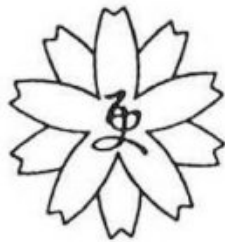
一部改正	平成22年	4月	2日
	平成23年	4月	5日
	平成23年	6月	24日
	平成27年	4月	3日
	平成27年	12月	18日
	平成28年	1月	20日
	平成30年	4月	27日
	平成31年	4月	26日
	令和3年	5月	13日

## 出雲更生保護女性会結成60周年記念式典実行委員会



### 編集後記

平成24年度(2012)から10年間のときが流れ、社会情勢も変容してきました。  
コロナ禍の中、出雲更生保護女性会結成60周年記念式典を挙げる事ができました。  
出雲更生保護女性会の活動は社会福祉団体、保護司会、地区のコミュニティセンター、保育園(所)・幼稚園・小学校・中学校等と提携しつつ、次代を担う青少年の健全育成に努め、一人一人があたたかな人間愛をもって明るい社会づくりをめざして貢献しています。  
先人から受け継いだ「こと」「もの」を大切に継続して今日の式典の開催となりましたことは感無量です。一人の力は微力ですが仲間が結集し、個々の持ち味を発揮することで、目的に向かうことができたと思います。感謝の一言です。  
今後は、その時代に即したあり方を模索し、手を取り合って更生保護女性会の心を絶やすことなく、繋げていきたいと改めて思いました。



---

出雲更生保護女性会  
**結成60周年記念誌**

令和4年7月 発行

編集者 実行委員会記念誌部会  
発行者 出雲更生保護女性会  
印刷所 有限会社江陽印刷

---

